



瑞浪市青少年育成市民会議だより

第26号

笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて はげまして』 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議

〔編集〕 市民会議専門部会 広報部会

令和7年度 瑞浪市青少年育成市民会議 第2回総会



会長あいさつ



表彰状・感謝状の贈呈



理事活動報告



稲津町の青少年育成活動の発表



2月14日（土）に、瑞浪市総合文化センターにて、瑞浪市青少年育成市民会議第2回総会を開催しました。青少年育成に貢献された方々への表彰状・感謝状の贈呈、令和7年度の活動報告、青少年育成モデル地区（稲津町）の実践発表が行われました。

はじめに、青少年育成にかかわる各団体から推薦していただき、被顕彰者選考委員会にて選考された個人9名と2団体に、市民会議会長である水野光二市長より表彰状・感謝状が贈呈されました。

次に、理事代表と各部会長より1年間の青少年の健全育成にかかわる活動が報告されました。

最後に、本年度の青少年育成モデル地区『稲津町』の取組が発表されました。青少年の健やかな成長を支えると同時に青少年が地域の行事に関われるようにするための取組の中から「瑞浪南中学校ボランティア部」「いいなっつ農園」「町民ふれあい映画館」「町民夏祭り」「町文化祭」「子どものための公民館事業」について具体的に紹介されました。

＜表彰状・感謝状の贈呈＞

※敬称略

【個人】大竹颯祐（土岐町：全国大会準優勝）

三浦悠杜（日吉町：全国大会準優勝）

伊藤百合子（明世町：地域清掃）

玉置憲正（大湫町：釜戸小学校外部講師）

三浦順三（大湫町：釜戸小学校外部講師）

丹羽恵子（稲津町：瑞浪南中学校クラブ指導者）

丹羽正真（稲津町：瑞浪南中学校クラブ指導者）

萩尾英明（山田町：青少年育成推進員）

和田建司（稲津町：青少年育成推進員）

【団体】土岐地区更生保護女性の会（土岐小学校の支援活動）

桜堂薬師保存会（土岐小学校の学習支援）

「秋の子どもまんなか月間」

啓 発 活 動



本年度も、青少年の健やかな成長・発達や自立を願い「秋の子どもまんなか月間」という活動が全国で行われました。瑞浪市においても、市内の公民館6ヶ所で開かれた文化祭会場にて、青少年の健全育成を呼びかける啓発活動を実施しました。

11月2日に中央公民館で開かれた文化祭会場においては、瑞浪市長をはじめとし、市民会議本部役員、町民会議関係者、瑞浪高校・中京高校・麗澤瑞浪高校から高校生のMSLにボランティアとして参加してもらい、啓発活動を行いました。

来場される皆様に会場入り口や展示会場前でチラシやティッシュ等を配布しながら、青少年の健全育成のお願いを呼びかけました。高校生の声かけに笑顔で応えていただけの方が多くいらっしゃいました。参加した高校生からは「来場者とのコミュニケーションをとることが楽しかった」「仲間と協力する楽しさを知った」などの声が寄せられ、参加したことに意義を見出していました。今回の活動を通じて、地域の青少年を支える意識がより高まったと感じています。

今後も青少年が安心して学び、成長できる環境づくりに取り組んでまいります。

(瑞浪地区推進員：森克幸)





各地区文化祭での啓発活動

陶町文化祭での啓発活動

10月19日(日)の文化祭には、地域の方々や子どもたちが笑顔で参加してくれ、啓発活動の「みとめて ほめて はげまして」のメッセージも自然に伝わった気がします。また、みんなが安心して暮らせる地域づくりを考えるきっかけにもなりました。文化祭という和やかな場で、この啓発活動を身近に感じてもらえたと思います。これからも、こうした活動を通じて地域の絆を深めていきたいです。(陶地区推進員：羽柴正典)



稲津町文化祭会場での啓発活動

10月25日(土)に、稲津町文化祭において啓発活動を行いました。長年続けている活動ですので町民の方からは『みとめて、ほめて、はげまして』のスローガンが大好きです」というお声がけもいただき、地域のみなさんで青少年を育ていこうという考えが根付いていることを感じました。今後もこのような活動を続け稲津町の青少年を地域みんなで見守っていききたいと思います。(稲津地区推進員：伊東直紀)

釜戸地区 文化祭での啓発活動

10月26日(日)に釜戸町コミュニティーセンターにて、啓発活動を行いました。今回は51回目の文化祭で『釜戸村発足150周年』を記念する回となり、会場には長さ7mを超える釜戸町歴史年表が展示され、たくさんの来場者に来ていただき盛り上がりしていました。啓発グッズを来場者に手渡ししながら「秋のこどもまんなか月間」を周知することができました。(釜戸地区推進員：小池誠)



大湫町文化祭で啓発活動を行いました

11月1日(土)2日(日)に大湫町文化祭が開催されました。子どもたちの迫力ある絵画や粘土作品、地元住民や陶芸家の作品を展示。懐かしの曲がながれる喫茶コーナーでゆっくりされる方も多くありました。啓発活動は会場入口で実施、例年の取り組みで活動の主旨を快く受け止めていただけました。(大湫地区推進員：植村準)

日吉地区文化祭での啓発活動

11月15日(土)16日(日)に、コミュニティーセンターで日吉町文化祭が開催されました。秋晴れの下、大勢の町民の方が来場されました。16日(日)に町民会議関係者、少年センター指導員の協力をいただき啓発グッズを手渡ししながら啓発活動を行いました。日吉の子どもたちの成長を見守る側が今一度非行・被害防止について考える機会になればと思いました。(日吉地区推進員：大竹崇文)





令和7年度 高校生と語る会



テーマ「18歳って大人？」

期日：令和7年10月11日

場所：瑞浪市総合文化センター

瑞浪高等学校・中京高等学校・麗澤瑞浪高等学校の生徒さんと青少年育成市民会議家庭教育部会・町民会議の皆さん45名に参加いただき「高校生と語る会」を開催しました。成人年齢を引き下げる民法が改正され4年目を迎えます。昨年のテーマを踏襲し、今年のテーマも「18歳って大人？」とし、高校生の皆さんに語ってもらいました。話の内容が「大人とは?」「大人と成人の違いは?」にまで広がり今の自分の素直な考えや思いを聞くことができました。

私たち大人にとって、若者の考えを知り若者から学ぶとても有意義な機会とすることができました。



話しやすい雰囲気の中で楽しく交流ができました



高校生と語る会に参加した大人と高校生の皆さん

参加した高校生の声

- 私は、今16歳です。社会が言う成人まであと2年しかありません。正直、18歳成人は社会や大人が「大人になりなさい」と無理に言っているだけだと思っています。でも、少なくとも100%子どもじゃないし、大人でなくてはならないという要素や場面もあるから、大人になることを意識して生活していきたいです。
- 私にとって、「18歳」というのは、法律的には大人だけど、精神的にまだ成長の途中だと思います。「契約できるようになる」「選挙で投票ができる」など、やれる範囲が広がるだけで実際にそれが大人とは言えないと思います。私自身、まだ親の力を借りて過ごしていたり、政治への関心が薄かったりと自立すべきところで自立ができていないと思います。18歳は、大人として「自分の行動に責任がともなう」ことを学び始める時期として考えたらいいのかなと感じました。
- 大人になるうえで、一番大切なのは、自分の行動に責任をもつことだと思うので、様々な行動に責任をもっていきたいと思いました。

- 18歳は大人なのか、子どもなのか、ハッキリとした答えは出なかったけど、一人一人の意見が違ってすごくおもしろかったです。初めての経験で緊張したけど、他校の子とも仲良くなれたし、大人の方ともたくさん語り合うことができ、とってもいい経験になりました。
- 他校や大人の方と、機会がなければなかなか話すことのない話題について真剣に考え意見交流ができ、とても貴重な経験になりました。自分とは違う意見に出会ったりその理由を聞けたりと、良い刺激になりました。

参加した大人の声

- 高校生一人一人に自分の思いや願いがあり、もう大人だなと思い、本当に頼もしく思いました。私自身が高校生だった頃と比べ、明らかに自分の生き方への方向性や職業観がしっかりしていて本当にすばらしい。
- 自分の考えをしっかりとっていて、また自分の言葉で語るができる高校生の方々にふれ、本当に頼もしくそしてうれしく感じました。めったに話すことができない年代の方々との交流は大変意義深いものでした。



稲津町における 青少年育成活動



稲津町青少年育成町民会議では、「青少年の健全育成」を目的に家庭・学校・地域が相まって活動を行ってきましたが、近年では少子高齢化・親世代の多忙化・高度な情報化に伴う犯罪やいじめ等の要因が重なり、青少年を取り巻く環境が大きく変化しています。

このような状況の中、瑞浪南中学校では生徒自らがボランティアを積極的に楽しむというコンセプトで、「瑞浪南中学校ボランティア部」を自主的に設立されました。同部では、稲津町で実施する各種イベントへのボランティア参加の他、休日等を利用して地域の清掃活動を自主的に実施されていることから、稲津町青少年育成町民会議では活動時に着用する帽子を贈呈し、その活動を応援しています。

稲津町では、「瑞浪南中学校ボランティア部」をはじめとしたボランティアの機運が高まっており、まちづくり推進協議会、公民館が主催する様々なイベントに多くの青少年が参画していることから、以下に令和7年度に実施した主なイベントと青少年の参画について紹介します。

1. 「いいなっつ農園」でサツマイモの苗植えと収穫祭を行いました

いいなっつ農園では、地域住民が土と親しむこと、多世代交流の場とすることなどを目的に約15年前から実施しています。今年も180名もの方が参加し、1,300本のサツマイモを植栽しました。

当日は、稲子連のインリーダーによる総合司会、中学生ボランティアによる作業の指導など、イベントの中心的存在として元気よく活躍してくれました。



収穫のコツを教わるインリーダー

2. 「稲津町民夏まつり」「稲津町文化祭」においてボランティアが大活躍しました

稲津町民夏まつりは、毎年多くの方が楽しみにしている夏の一大イベントです。ここでは、瑞浪南中学校の生徒42名がボランティアとして参加し、大人とコミュニケーションをとりながら「会場準備」「司会進行」「記録係」等運営全般で活躍してくれました。

稲津町文化祭では、2日間を通して瑞浪南中学校並びに麗澤瑞浪中学・高等学校の生徒15名と、中京学院大学の生徒が野菜などの販売員になって会場を盛り上げてくれました。



ボランティアによる販売

3. 子どもたちが公民館を利用しやすい各種イベントを行いました

小中学生に公民館を身近に感じてもらえるよう、夏休みに大学生・高校生のボランティアに勉強のサポートをもらう「お兄さんお姉さんとお勉強のお部屋」を実施した他、公民館を快適な学習環境としてもらえるよう「夏休み自習室」「冬休み自習室」として開放しました。



高校生・大学生に教わる小学生

年末清掃ボランティア活動

12月6日、年末恒例の「清掃ボランティア」を行いました。市内の中学校・高校の生徒さんと部会員、そして青少年育成に関わる方々47名で、市街地の清掃活動を行いました。

活動中には、地域のみなさんからの暖かい励ましの言葉をいただきながら、生徒さん達は一生懸命にごみ拾いを行いました。参加した中学生は「ごみはあまり落ちてなく、煙草の吸殻が所々ある程度で全体的にきれいだった。ごみ拾いをやってみて瑞浪の街がきれいになって嬉しかった」と、高校生は「市街地と違って道路に面した山裾に、たくさんのペットボトルや空き缶が捨ててあって拾うのに大変だったが、きれいになったのを見て清々しい気持ちになりました」と感想を述べてくれました。

この「年末清掃ボランティア」は、もともと年末に「無ガム中」と称して駅前の地面に貼りついたガムを清掃するイベントでしたが、コロナ禍後に形を変えて行うこととなったイベントであり、そのボランティア精神は代々引き継がれてきたものです。今後とも「年末清掃ボランティア」を通じて、中学生・高校生の若い世代に自分たちの街は自分たちの手で住みやすく、きれいな街にしていこうとの気持ちを育んでいきたいと思っています。

(担当理事 瑞浪地区推進員：岩島辰也)



1年の活動を振り返って

本年度も瑞浪市青少年育成推進協議会のスローガン「みとめて ほめて はげまして みんなの力で健やかに」のもと、青少年健全育成の活動を進めてきました。

6月15日には「瑞浪市主張大会」が瑞浪市総合文化センター文化ホールにて開催されました。小学校7名・中学校4名・高校生3名・一般の部1名の方が参加され、多くの市民の皆様に視聴していただきました。自分の思いや考えを堂々と主張する真剣な姿が印象的でした。また、司会進行や審査や表彰の補助など大会運営に高校生の皆さんに協力していただきました。7月から9月には「夏季特別街頭指導」を実施し、青少年の被害・非行を防止するために夕方から夜にかけて市街地を見回りました。10月11日には「高校生と語る会」を開催し、「18歳って大人？」をテーマに、18歳で大人になる自覚と不安や責任について、高校生の皆さんの率直な意見や思いを聴くことができました。12月6日には「年末清掃ボランティア活動」を実施し、中学生・高校生の皆さんと市街地のゴミ拾いを行いました。1月11日には、「令和8年二十歳の祝典」に案内誘導係として理事が参加し、青少年から大人として成長を遂げた二十歳の方々をお祝いしました。

また、夏には「青少年の非行・被害者防止全国強調月間」啓発運動を、秋には「秋のこどもまんなか月間」啓発活動を、各地区の夏祭り会場や文化祭会場にて実施しました。

このように、本年度予定していた活動をすべて実施することができました。これもひとえに関係各位や多くの市民の皆様のご理解・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。令和8年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

(岐阜県青少年育成推進指導員 曾我 順一)

令和8年度 主な年間行事（予定）

- 5月24日(日) 第1回青少年育成市民会議総会
- 6月14日(日) 瑞浪市主張大会
- 10月17日(土) 高校生と語る会
- 2月14日(日) 第2回青少年育成市民会議総会